

(令和2年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	4月の総入荷量は、中旬以降の気温低下の影響等により、不安定な入荷となったため前年同月比で8%下回った。総取扱金額は、前月に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家庭内需要は高かったものの、業務需要の低迷により7%下回った。 5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、中旬からは青梅の入荷が始まる。果実では、甘夏かんや清見オレンジが終盤となり、マンゴーや桜桃等の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。 4月中旬以降の気温低下の影響により、一部の品目では生育の遅れが生じるなど、不安定な入荷が懸念される。
野 菜	野菜全般の入荷量は中旬以降の気温低下の影響等により不安定な入荷となったため前年同月比で6%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 葉菜類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は34%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は11%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は14%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は3%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は4%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は31%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で25%下回り、単価は10%上回った。

	メロン類の入荷量は中旬以降の気温低下の影響等により前年同月比で２９％下回ったが、単価は業務需要が激減したため２２％下回った。
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎，千葉を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１４％下回り，単価は１８％上回った。
西洋にんじん	徳島を中心に関長崎，熊本，中国などからも入荷した。入荷量は好天により順調な生育となったため前年同月比で１６％上回ったが，単価は安値で推移した前年に比べ３０％上回った。
たけのこ	京都を中心に入荷した。入荷量は昨夏の台風や豪雨により被害を受けた竹林があったため前年同月比で１１％下回ったが，単価は業務需要が激減したため４５％下回った。
【葉菜類】 はくさい	熊本，茨城，長崎，宮崎，岡山などから入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は１２０％上回った。
キャベツ	愛知を中心に関鹿児島，兵庫，滋賀，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り，単価は６５％上回った。
ほうれんそう	岐阜，茨城，福岡，京都，滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り，単価は２７％上回った。
レタス	兵庫，長崎を中心に関茨城，徳島，岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回り，単価は１１％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎，高知，福岡を中心に関滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１４％下回り，単価は２９％上回った。

なす	岡山，高知，熊本，福岡を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２３％下回り，単価は９％上回った。
とまと	熊本，福岡を中心に京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は９％上回った。
ピーマン	宮崎，高知，茨城を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回り，単価は４３％上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	鹿児島，北海道を中心に長崎，熊本などからも入荷した。入荷量は暖冬の影響により生育が早まったため前年同月比で１２％上回ったが，単価は需要が高かったため２２％上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に長崎，佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１４％上回り，単価は４７％下回った。
【その他野菜】	
生しいたけ	岡山，長崎，三重を中心に徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り，単価は６％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	和歌山，愛媛，福岡，熊本，鹿児島から入荷した。入荷量は好天により潤沢な入荷となったため前年同月比で１９％上回ったが，単価は前年同月並みであった。
清見オレンジ	和歌山，佐賀，福岡から入荷した。入荷量は前年同月比で４８％下回り，単価は１８％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で２４％下回り，単価は４３％上回った。
いちご	福岡，大分，熊本，佐賀，長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り，単価は１０％上回った。
アールスメロン	静岡，高知から入荷した。入荷量は中旬以降の気温低下の影響等により前年同月比で５２％下回ったが，単価は業務需要が激減したため３３％下回った。
アンデスメロン	熊本から入荷した。入荷量は前年同月比で９％上回り，単価は７％下回った。
大玉すいか	熊本から入荷した。入荷量は需要低迷により数量が抑えられたため前年同月比で１８％下回ったが，単価は需要が低かったため１６％下回った。